

「創造活動・24時間学校(5)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

(10) 夜の屋上で「半月見の会」

恐怖の「きもだめし」が終わって、パジャマに着替えたあと、みんなで校舎の屋上にあがった。半月を見る「半月見の会」である。

ここで3組の「めしプロ」からサプライズがあった。何と、大きな「月見団子」が配られたのである。もちろん、子どもたちは大喜び!



月は南中を少し過ぎて、西に傾き始めていたが、最初は雲がかかっていて見えなかった。しかし、「月見団子」の神通力で、雲の隙間から半月が見え、歓声があがった。

「わあー、お月さまが出たよー！」

「きれいな半月!こんなにきれいな、はじめて!」

「光の輪がついてて、きれいだね!」

(11) 高積雲と「月光環」

子どもたちが「光の輪」と称したのは「月光環」(げっこうかん)という現象である。「月光冠」とも書く。

月(月相 7~21)に高積雲や高層雲がかかった時に、周囲に色のついた光環が見える現象だ。この日は薄い高積雲がかかっていたので、この神秘的な「大気光学現象」を見ることができたのだ。



「月光環」は月を中心に、内側に青、外側に赤っぽい光の環が見られる。上代の人々が、この様子を見て月を神の一つと考えたのも、うなずける。こんなに神々しい光景にもかかわらず、私は子どもたちに変な歌を教えてしまった。

～♪月光環 月光環 きれいな月だね 月光環～

これはお酒(月桂冠)のコマーシャルの替え歌である。子どもたちは思いのほか気に行き、このあと寝るまで歌い続けていた。

月に高積雲や高層雲がかかると「月光環」が見えるが、太陽の場合は「日光環」が見える時がある。



また月に巻積雲のような上層の氷晶の雲がかかると、写真のように大きな環「月暈」(げつうん)が見られることもある。(スウェーデンで撮影)曇っていても、月見の楽しみはいろいろあるということだ。